

「相談を受ける力」 受講生募集!!

選べる、2講座

「相談ってむずかしいなあ…」 「困っているのはわかったけど…どうしたらいいの？」
「あの対応でよかったのかな？みんなはどうしてる？」

中間支援組織にとって「相談」は、中心となる活動です。支援力アップ塾では毎年、「相談を受ける力」の講座を実施してきましたが、今年度は、対象別に、2つの講座を開催します。希望に合わせて、ふるってご参加ください！

その1 「あれ？」から始まる相談活動

対象● 相談活動の基本を学びたい方

相談の入口／出口は実に多様です。ちょっとした立ち話やふとした一言から、相談につながることもあります。また相談が進行すると、個人⇄地域⇄社会、とそれぞれの課題が交じり合うこともしばしば。相談の入口をどうつくり、どう受け止めていけば良いのか、相談活動に必要な考え方・知識などの基本を、皆さんの疑問からひも解きます。

日時：7月20日（木）13:00～17:00

会場：東京都生協連会議室

（中野区中央5-41-18 中野駅徒歩6分）

受講料：3,000円

その2 やってみよう！ケース検討

対象● 相談活動の引き出しを増やしたい方

受講生の皆さんが持ち寄る相談事例（地域課題に関すること）を題材にしてケース検討を演習します。組織やチームで共有しながら進める相談活動の意義、ケース検討の進め方などを学ぶ、実践的な講座です。

日時：7月28日（金）10:00～17:00

会場：シャロームみなみ風

（新宿区弁天町32-6 東京メトロ東西線早稲田駅
1番出口徒歩7分、大江戸線牛込柳町徒歩12分）

受講料：6,000円

（※サービス利用者のケース事例は除きます）

講師 山崎美貴子（TVAC 所長） 唐木理恵子さん（JVCA 代表理事）

対象 地域住民やボランティア、市民活動団体と共に地域づくりをすすめる組織（中間支援組織）や施設のスタッフ

* 年齢や勤務年数、常勤・非常勤など雇用の形態は問いません。

* 原則、個人は対象としておりません。中間支援の業務の経験のある方や予定のある方は、事務局までお問い合わせください。

定員 各回 40 名

申込方法 FAX：申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX にてご返信ください。

WEB：支援力アップ塾サイト（<http://www.tvac.or.jp/special/im>）よりお申込みください。

* お申込み受付後、受講通知をお送りします。内容確認の上、受講料をお支払ください。

申込期限 2017 年 7 月 13 日（木）※ただし定員になり次第締め切ります

申込先 東京ボランティア・市民活動センター（支援力アップ塾担当）

TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050

E-mail im@tvac.or.jp

URL <http://www.tvac.or.jp/special/im>



～支援力アップ塾とは～

地域で活動する市民活動を支え、ともに課題解決を目指す中間支援組織スタッフのみなさんが「悩みや知恵を持ち寄り、ともに解決の糸口を考える」そんな出会いと学びの場として、2012年に開講しました。

ふりがな		申込み講座	☐ その1 7/20 (木)
氏 名			☐ その2 7/28 (金)
所 属			
所属先住所	〒 —		
所属先連絡先	TEL : E-mail :		FAX :
受講動機			

*お申込みの際にいただいた個人情報は、TVACにおいて適切に管理し、情報提供等に利用させていただきます。

以下、事前アンケートです

当日、受講生の学びを深めるため、回答にご協力をお願いします。該当するものに○をつけてください。

*なお、ここでいう「記録」は、相談の記録を何かしらの形で残す手段のことを指しています。

1. 日ごろの相談活動において記録をとっていますか。

(1) 定期的にとっている (2) 必要があるときにとっている (3) 全くとっていない

2. 上記1で（1）または（2）と回答した方、記録をとる方針について教えてください。（いずれか一つ）

(1) 組織として記録をとる方針である (2) 組織としてではなく、個人として記録をとっている
(3) その他 ()

3. 上記1で（1）または（2）と回答した方、記録をとる目的や用途を教えてください。（複数回答可）

- (1) 緊急時にスタッフ間で共有するため(例:トラブル対応)
- (2) 1つの相談内容から背景や対応方法についてスタッフ間で深めるため(例:ケース検討)
- (3) 相談の傾向を知るため(例:事業企画検討)
- (4) ボランティア・市民活動推進の課題を分析するため(例:事業企画検討)
- (5) 報告用書類作成のため(例:運営委員会、役員会等の事業報告)
- (6) 自己責任を果たすため
- (7) 職務の社会的責任として
- (8) その他()

4. 上記1で（1）または（2）と回答した方、記録様式（フォーマット）はありますか。

(1) ある (2) ない

※あると回答した方は、当日、受講生の所属先の相談記録様式集を作って配布し共有したいと思いますので、事前に様式（フォーマット）を MAIL
もしくは FAX にてお送りいただきます。後日、お申込み後にご連絡いたします。

5. 日頃の相談活動において、ケース検討を行っていますか。

(1) 行っている(「日・週・月・年」に()回実施) (2) 行っていない

6. 上記5で（1）と回答した方、ケース検討は組織の事業として位置づけられているものですか。

(1) はい (2) いいえ

7. ※7/28 のケース検討参加希望の方のみ回答

今回の研修で受講生の皆さんと検討してみたい事例はありますか？

(1) ある (2) ない ※「ある」と回答された方には、後日事務局より詳細を伺います。